



10年前の中心市街地
(大門商店街)

ツプルランドは、高出に新店舗が建設されているが、大門店は今後も営業するとのことである。

◆交流センターと駐車場の間の連絡通路の必要性

問 ヨーカ堂の撤退方針を示され連絡通路が大門の活性化になるのか。(古厩)

答 設置しないと相当の渋滞が予想され、交通事故の危険が増す。えんぱーく工事と併せ行うのが最良。やらないでウィングロードの再生に支障が出るほうが大きいマイナス。

◆市街地活性化での対応は

問 中心市街地活性化は、市の推進部分は進めているが、ヨーカ堂、まちづくり会社など民間部分で問題がある。どう対処するのか。(鈴木)

答 ウィングロードビルは市民生活に必要な施設。ヨーカ堂には営業継続を求め、撤退の場合でも、責任ある後利用



現在の中心市街地
(大門商店街)

多様化する 市民要望 への対応



◆新体育館建設計画見直しを
問 経済情勢や財政運営上、現体育館が好ましくはないが

答 これまでではそこまで気づいていなかった。これからはやっていきたい。

問 市民交流センタービルの再開発事業による固定資産税等の減収額は合計で約110万円とのことだが、再開発事業等を行う際に、こうした事業が

税収の増減要因としてどんな影響を与えるかを、事前に検討して来たか。(青柳)

◆ビルの市有化で税収減

問 市民交流センタービルの再開発事業による固定資産税等の減収額は合計で約110万円とのことだが、再開発事業等を行う際に、こうした事業が

の提案を求める。まちづくり会社は、資本、人材の補強等が必要。商工会議所とともに取り組んでいく。

答 競技スポーツの振興、健康体力づくり、避難施設の観点から必要と考える。場所については、広い駐車場の確保が問題となるため、より詳細なデータを示すことが行政の責務と考える。しかし100年に一度といわれる経済危機の中での優先順位はと問われれば判断に迷うところである。

問 使用に絶えられなくはないことを考えると、優先順位は高くないと思う。測量調査予算可決後、体育行政の将来設計を描くのもなく、新体育館を建設しても体育人口の増加も期待できない。地域のニーズにあった指導者の育成、組織化あるいは健康づくり拠点整備という方向にシフトすべきと思うがどうか。(中村)

答 競技スポーツの振興、健康体力づくり、避難施設の観点から必要と考える。場所については、広い駐車場の確保が問題となるため、より詳細なデータを示すことが行政の責務と考える。しかし100年に一度といわれる経済危機の中での優先順位はと問われれば判断に迷うところである。

◆避難施設建設整備について
問 吉田地区から要望されている吉田西地区に健康づくりのための施設もかねた避難施設



体育行政の将来設計を

答 使用に絶えられなくはないことを考えると、優先順位は高くないと思う。測量調査予算可決後、体育行政の将来設計を描くのもなく、新体育館を建設しても体育人口の増加も期待できない。地域のニーズにあった指導者の育成、組織化あるいは健康づくり拠点整備という方向にシフトすべきと思うがどうか。(中村)

問 吉田地区の避難施設については充分ではないと認識しているが、すぐにはできない。今後の課題と考えている

◆プレミアム商品券発行
問 2回目を望む声が多いが前回との違いは何か。(山口)

答 1人5万円を上限とし、8支所とイトーヨーカ堂の9箇所で販売予定。要介護・要支援者、障がい者などの方には先行販売する。

◆失業者に生活支援を利用できる制度は。(山口)

答 「勤労者生活資金緊急融資制度」や「就職安定資金融資制度」がある。また「生活福祉資金」があり利用要件が緩和された。



吉田地区の指定避難場所
(長者原公園)